

# オープニング マリンバ演奏

オ・サナマン

♪ エターナリー ♪ 旅路

♪ マンダー・ザ・シー ♪ 愛の讃歌

♪ やさしいお話 ♪



## 世話人代表 あいさつ

高垣 忠一郎さん

歓迎 高垣先生

ある空港でダンボールに歓迎高垣先生と書いたものを見つけて、出迎えてくださった。その素朴なこの歓迎プレートは僕の宝物になっています。

僕は、今回世話人代表を降ります。

世話人代表を降りても、この全国連絡会からは離れません。

僕は心から皆さんの参加を歓迎いたします。

なぜ、こんなに不登校が増えているのかについては、このあとの記念講演で話します。

## 実行委員長 あいさつ

春日井 敏之さん

長崎から4年ぶりのつどいです。

皆さん、ほんとうにようこそ おこしいただきました。

コロナをはさんで、いろいろな事情を抱えている中、ほんとうにようこそ!! この会場がいっぱいになって、

先日、文科省が不登校やいじめの数を発表しました。たいじなのは数ではありません。

一人一人の子どもがどうしたいのか、どう生きたいのか。

私たち大人は、それを支援していきたい。

比較と競争、なんとかしては、という子どもたちの心の声です。つまり、不登校は社会構造の問題です。

コミュニケーションが断絶されている。まず足元から、再編、再生していきましょう。

## 来賓 あいさつ

全教 浪岡知朗さん

文科省は、毎年不登校数が増えつづけていることについて、特に去年から5万人も増えたことについて、コロナのせいのように分析していますが、そうではない、競争と管理の学校教育のせいです。

今、全教は、1747の全国の自治体を教育懇談会をもとうという、教育大運動を展開しようとしています。草の根からの運動。そこから様々な声をあつめ、束にして、今どういうことが、必要なのか、運動していきたい。

今年の夏に開催された教育のつどいにも、皆様の力をたくさんいただきました。再編されたので、どのようにしていったらよいのか、意見をいただきたいと思います。

大人も子どもも支えあい、語りあうことが、大切だと思います。

ここには教育の原点があると思っています。私もたくさんこの二日間を学びたいと思っております。よろしくお願いします。



